

HIO YOG

教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
【編集】教区基推委広報部

2004.12 141号



新門様からのお言葉

御同朋 一万二千が総結集

神戸ウイングスタジアムで大会

去る十月二十日、兵庫教区御同朋総結集二万人大会が、組画変更二十年、阪神淡路大震災十年の節目ともなるこの時期に「聞えよう伝えよう阿弥陀仏のこころ」のテーマで、

神戸ウイングスタジアムに、大谷光淳新門様ご臨席のもと、教区内の僧侶、門信徒一万三千二十八人が集い、盛大に意義深く開催されました。私たちの兵庫教区はこの

大会に向け、二〇〇一年に「兵庫教区御同朋総結集二千人大会並びに同朋運動五十周年記念大会」を実施し、さらに二〇〇二・二〇〇三年に教区内三十九の全組において組結

うなかで、御同朋の社会実現の方向を確かめ合う熱い思いが総結集となったことでした。

しかし、一つ残念な事は大会を前にした十月二十日夕刻から夜にかけて近畿地方を直撃した台風23号は、各地で土砂崩れや浸水を引き起こし、全国で約九十人、兵庫県内だけで二十一人の死者、行方不明者を出し、但馬では円山川と出石川の堤防が決壊して泥水が市街地を覆い、淡路では土砂崩れが民家をのみ込んだ。その影響でこの大会参加を予定して頂いていた教区内の門信徒312人が参加でき無かったことを報告しなければなりません。被害を受けられた門信徒をはじめ市民の皆様の一刻も早い平穏な日常生活への復旧を念じております。

この大会を迎えるにあたっては、昨年から準備委員会、今年の実行委員会を通じて、多数の委員、スタッフのご協力と尽力のたまものでありました。記念品一つにしても各組会で協議をし試作を重ね作り上げ、企画部会ではこのスタジアム始まって以来という、バス台数250台以上の参加者をいかに事故無く安全にし、しかもスムーズに乗り降りをする



実は私、時々ものすごく死ぬのが怖くなり、ものすごく悲しくなります。毎日の生活はとても充実していて、これといって悩みもなく楽しいこともたくさんあり、優しい夫と可愛い子供達にかまわれて...周りの人々も本当に良い方ばかりで、いつも私は「恵まれてるなあ。」と思っています。でも普段生活している中で、怖く恐怖に襲われる。自分ではどうする事もできない現実。ものすごく怖いんです。◆このようにしようもない事から常に目をそらし生きています。お寺で生活をさせて頂いていても、阿弥陀様におまかせすることも出来ず、お念仏そっちのけで落ち込んでしまっています。皆さんはこの様なことはないでしょうか？毎日の生活に追われ、この様な思いさえも実は忘れてしまっている私があります。◆親鸞聖人が法然上人のもとでお念仏の道を聞いていかれたのも今の私と同じ年頃でありました。報恩講のこのご縁に、命についてじっくりと見つめなおしてみようかなあ、と思うのです。

釋氏 真帆

教区だより		12月	15日(水)	16日まで
1日(水)	布教使育成研修会	13:30~	常例法座 宮里俊哲師	16日まで
3日(金)	近同推50周年記念大会	本 山	17日(金)	保育理事・主任代表者会 14:00~
4日(土)	第一土曜仏教講座 野村康治師	13:30~	20日(月)	遠征研修会「聴く・聞く・効く」金光壽師 16:00~
4日(土)	仏教社年幹部一泊研修会	5日まで	20日(月)	勸学寮真宗講座 21日まで
5日(日)	江並教室報恩講	13:30~	10日(木)	ピハラー社推協合同会議 10:00~
			10日(木)	第2回ピハラー研修会 一乗康純師 13:30~
			10日(木)	試行全寺院サマースクール総括 本 山
			13日(金)	連研部会 13:30~
			15日(水)	常例法座 宮里俊哲師 16日まで
			17日(金)	保育理事・主任代表者会 14:00~
			20日(月)	遠征研修会「聴く・聞く・効く」金光壽師 16:00~
			20日(月)	勸学寮真宗講座 21日まで
			21日(火)	矯正研修会 15:00~
			24日(金)	報恩講子どもの集い(準備) 14:00~
			25日(土)	報恩講子どもの集い(第6回同校研修会) 10:00~
			25日(土)	年忘れヤング広場 18:00~

9月1日 布教団第3連区布教使研修会(2日まで) ◆2日 勸学寮真宗講座(3日まで) ◆3日 教区勤式指導所 ◆4日 モダン寺土曜子ども会、秋の遠足(フルーツフラワーパークにて) ◆第一土曜仏教講座、講師は龍谷大講義師 浅井成海師、講題は「浄土真宗の利益」 ◆5日 別院参拝、滋賀教区高島組勝専寺仏教婦人会 ◆6日 基推委、門信徒会部会と組織代表者会議 ◆7日 別院仏教定例法座、講師は北根組廣宣寺 門中浄光師 ◆連研部会、第1回連研のための研究会 ◆8日 仏婦、委員総会 ◆10日 基推委、一万人大会「総務部会」 ◆別院参拝、陵南町仏教会 ◆青僧会、役員会 ◆13日 基推委、一万人大会「広報部会」 ◆13日 門推、幹事会 ◆基推委、組基推委委員長(組長)会、一万人大会「財務部会」 ◆別院常例法座、講師は多可組浄照寺 丸岡宣証師、講題は「仏願の生起本末を聞く」(16日まで) ◆17日 矯正、加古川学園 播磨学園竣工式、加古川学園にて 基推委、千鳥が淵教区参拝団、18日

まで 別院参拝、山陰教区福屋組念仏奉仕団 ◆18日 仏青役員会 ◆22日 別院秋季彼岸会、講師は滋賀教区栗太組西念寺 中神章生師、講題は「すくい」(24日まで) ◆27日 ピハラー、車椅子磨き、神戸社会保険介護老人保健施設にて 仏婦、寺婦、連続研修会、一万人大会の課題曲の練習 ◆28日 愛生園秋季慰霊祭、愛生園福祉会館にて 別院参拝、滋賀教区犬上組鑽仰会 ◆29日 江並教堂、秋季彼岸会、30日まで 寺婦、近畿ブロック研修会、津村別院にて ◆30日 矯正、県仏教教誨師役員会、景福寺にて ◆10月1日 基推委、一万人大会「行事部会」 ◆教区勤式指導所 ◆2日 第一土曜仏教講座、講師は内田宏圓師、講題は「ほとけさまなき世界の恐ろしさ」 ◆モダン寺土曜子ども会 ◆ピハラー、全国集会、11名参加、本山にて3日まで ◆4日 庶務常備会 ◆5日 別院参拝、安芸教区広陵東組海寶寺 ◆6日 少年、役員会 ◆矯正、播磨学園教誨 ◆7日 別院仏婦永代経法要、講師は神崎組真楽寺 寺本峰昭師 ◆別院参拝、北豊教区小倉組永照寺 ◆8日 矯正、加古川学園

体育祭 ◆青僧会、役員会 ◆別院参拝、岐阜教区岐厚組真念寺 仏婦 ◆12日 基推委、一万人大会「企画部会」 ◆寺婦、仏婦、連続研修会、一万人大会の課題曲の練習 ◆八月三十日、九月二十七日、十月十二日の三回にわたって午後十三時半より午後十五時半まで、本願寺神戸別院一階ホールと三階本堂を会場に兵庫教区寺族婦人会連盟、仏教婦人会連盟が中心となって「兵庫教区御同朋総結集一万人大会」を連続研修会を行った。講師には仏教音楽研究所講師、釋氏清子師、鹿多証道師らを迎え開会式や第3部の練習を行った。のコーラスの練習を行った。一万人大会に向け毎回二百六十名前後の参加者があり、大会当日には800名近いコーラスの歌声が会場に響いた。

◆14日 保育、理事會、主任代表者會、一万人大会企画圓引率代表者會 ◆仏婦、近畿大會、和歌山ビッグホールにて ◆15日 別院常例法座、講師は揖龍西組浄教寺 寺田寛了師、講題は「本願名号正定業」(16日まで) ◆17日 別院参拝、出石組正福寺 教婦人会、山陰教区仁摩組大



一万人大会コーラスの練習

雄寺 ◆18日 教区勤式指導所/基推委、一万人大会 打ち合わせ ◆19日 スカウト、役員会 ◆20日 別院参拝、和歌山教区海草組総代会、山口教区都濃西組 ◆22日 矯正、加古川学園教誨 篤志面接、加古川学園にて 別院参拝、山口教区北組照円寺 ◆24日 姫路東組教福寺 住職修復法要 ◆26日 別院参拝、福岡教区嘉麻組 ◆28日 別院参拝、大谷派大阪教区第21組 ◆30日 基推委、一万人大会打ち合わせ準備会、ウイングスタジアムにて 保育、近畿ブロック研修会、大学講義、津村別院にて31日まで ◆31日 基推委、御同朋総結集一万人大会、ウイングスタジアムにて

- 敬 弔
- 小宅鳳韶(揖龍西組浄宗寺住職) 5月21日、70歳で往生
 - 寺元千代子(揖龍東組正徳寺前坊守) 6月16日、74歳で往生
 - 藤井知正(神戸湊組浄念寺住職) 6月19日、91歳で往生
 - 青木和泉(綱干組西念寺前坊守) 6月29日、93歳で往生
 - 長石石ヨ工(揖龍西組浄徳寺前坊守) 7月13日、86歳で往生
 - 高坂龍司(姫路西組善宗寺住職) 8月20日、53歳で往生
 - 横山もと(北根組元昭寺前坊守) 9月6日、85歳で往生
 - 條 定子(阪神南組西光寺坊守) 9月19日、63歳で往生
 - 三浦泰子(姫路南組浄照寺前坊守) 10月1日、89歳で往生
 - 服部清淳(宝泉組唯稱寺衆徒) 10月19日、58歳で往生
 - 寶 幸雄(出石組光顯寺前住職) 11月6日、83歳で往生

ていただくか、何度も下見をし準備したことでした。他の部会においても何度も会合を持ち準備をしてきました。大会前日の十月二十日は250名以上の委員、スタッフが午前十時半に会場に集合し、打ち合わせの後に早速に大会

続々と結集

何とか持ちこたえた空模様の中大会当日を迎えました。受付予定の時間より早く、午前九時前から続々とバスが到



法中のみなさま



ごあいさつの園児

着し、またたくまに、受付付近は身動きも取れない状態の中、参加者資料を渡す門徒推進員の役員方、場外では応援の浜屋の社員さんとバスを迎える仏僧やスタッフ、場内誘導の仏僧や総代、米賓接待の寺婦役員方など声をか

一万三千の正信偈

そして参加者皆の思いをついに、一万三千人の正信偈が会場をふるわせるはかりに称えられました。まるで参詣者が万を超えた蓮如上人様ご在世の古崎御坊はかくのごとくかと思わせるよう

引続き、大会会長の井上博雄教務所長が挨拶。そして新門様がお言葉の中で「この大会がご参加の皆さん一人一人にとって、お念仏に出遇うという尊いご縁にめぐまれたことを慶び、改めて多くの

学びと点検

第二部は「学びと点検」として、教区内から三人の提言

があり、山崎龍明師(武蔵野大学教授、東京教区法善寺住職)のご法話があった。一人目の提言として廣岡行信氏(神戸中組徳照寺)は「組画変更二十年の提言」で、明治以来百有余年変わることのなかつた封建制度に依るしがらみとの格闘を乗り越えた

組画変更は新しい同信・同朋の発見と交流、信頼を生み出したことを参加者と共に確認された。

最後に大西耕雲氏(六栗組教専寺)が「御同朋社会の実現をめざして」の提言では、運動を展開する中で私の信心の有りようが問われる、また

人権問題や環境、平和の問題に念仏者として積極的に取り組む必要性、私たちは尊いいのちを恵まれていることに気づかせて頂き、同朋社会実

- 教蓮寺、香山真紀子、光明寺
- ▼佐用組・教蓮寺、浄宗寺、亀岡周明、服部正眺、円徳寺、光福寺、松村満智貴▼多紀組・多紀組、藤田さぎの、浄福寺門徒一同▼氷上東組・如来寺、受樂寺、明光寺、西現寺、敷内優、福照寺▼氷上西組・中尾教雄、浄福寺、門徒一同、平井孝彦▼朝来組・西方寺、唯念寺、仏教婦人会▼養父組・西念寺、念願寺▼出石組・楠淳澄▼城崎組・城崎組、西光寺、國正寺、本誓寺、平田紀代美▼岡山北組・當林寺、報恩寺、大雲寺▼岡山南組・正善寺、教徳寺、真光寺▼長崎教区・西明寺、教念寺、静行寺、八州秀賢▼福井教区・浄佛寺▼福岡教区・木村眞昭▼東海教区・仏婦連盟ダナ、加藤文隆、三重組組長事務所▼備後教区・岡田龍英▼山口教区・称徳寺、島末組、西善寺▼宮崎教区・仏教婦人会連盟▼滋賀教区・聖徳寺日夏仏教会▼北海道教区・教務所、東海教区教務所、安芸教区教務所、鹿児島教区教務所、長島愛生園真宗同朋会▼本願寺たすけあい募金、本派仏教婦人会総連盟▼神戸別院近藤常吉、近藤千恵子、為井湧一、佐々木恭彦、細見艶子、小山きみよ、浦川

昭夫、谷口敦子、福元三代子、宮本大作、長尾達子、上谷勝、兵庫教区仏教婦人会ダナ会計、兵庫教区門推第39回研修会参加者一同、兵庫教区仏教青年連盟

●義援金現況●
金11,420,398円

兵庫教区災害対策金庫より左記の通り見舞金をお届けいたしました(1軒につき5千円の見舞金)

- ▼出石組長専寺▼赤穂北組204軒▼岡山南組107軒▼姫路西組4軒▼揖龍西組22軒▼多可組40軒▼姫路南組11件▼淡路組125軒▼出石組213軒

ボランティアに参加して

「いま自分が行かなアカン。」そんな気持ちで翌朝、準備もそこそこに現地へ向かった。現地に到着して街に入ったとき、啞然とした。家に家が衝突していた。目を疑った。自分の腰の辺りまでえぐれたアスファルトを横目に、出石町鳥居の長専寺へ向かった。長専寺は堤防の決壊現場から最も近い地域にあり、その被害は甚大なものであった。到着してすぐに山門に寄りかかるようにして壊れている家が目に入った。長専寺の離れ家屋だという。まさにグシャッという音が聞こえてきそうな潰れ方。しかし、この離れのおかげで本堂は直撃を免れたのだと聞いた。それでも境内は泥土の山。庫裏の白壁を見ると自分の身長の高さまで水が来ていたことを表す線が見えて、体が震えた。早速床下の泥のかき出し作業に取りかかる。すくつては一輪車へ、すくつては一輪車へ、単純な作業だったが、しかし、単純な作業だからこそ辛かった。慣れない作業にすぐ疲れてしまう。それでも自分より何十歳も年上の方がせつせと働く姿を見て、被害にあわれた方のご苦労を思うと、簡単に休むわけにはいかなかった。川の水が堰を切



外陣まで土砂がうめつくした長専寺本堂

崩れを起こしていた。この山がもし大きく崩れていたら本堂は潰されていたかもしれないと聞いた。想像して、また怖くなった。作業中何人もの方が応援に来てくださって、とてもうれしかった。同時に、被害にあわれた方の心細さを改めて痛感した。ボランティアなくして復興はありえない。

鳥居地区の災害本部をします看板に大きくこう書いてあった。そのたった一言に涙が出そうになった。小さなやさしさ、少しの励ましがこの街の勇気と希望になっていくんだと確信した。夕刻が来て帰宅する時間が来たとき、「ありがとうございます。」と言われたが、「いえいえ、どういたしまして。」なんて言えない、申し訳ない気持ちでいっぱいだった。復旧作業はまだまだ終わりが無いと思うと、作業を途中にして帰るのが辛かった。

今回はじめて参加して、ボランティア活動などに一歩引いていた今までの自分がちっぽけで情けなく思えた。必要とされている。それだけで理由はいらなかつた。今回の活動で多くものを得られたことに、申し訳なく感謝しています。そして、これで終わりにしてはいけなと思います。

揖龍東組 法心寺
山本 慈乗

「気合だ！」



讃嘆衆のみなさま



スカウトの開会宣言



杉良太郎氏 登場

現への歩みを述べられた。

二名の提言を受けたご法話では山崎龍明師が、親鸞聖人の教を通して、八百年前に聖人が罪悪深重、煩惱具足と言われたのは表面的なことではなく、私達の心の奥底にある、自分が自分以下の人を作り出して、我が身の幸せを確認する心の内を見て行かれたのでありましょう。と私の心の貧しさ、私達の心の差別性を言い当てておられたのでしようと言われた。

ご門主様のお言葉にもあるように「念仏者は念仏によつて作りかえられる」、そしてそれは阿弥陀様との出会いにより、私と出会う、誰にも教えてもらおうことのない私自身と出会うことであり、ひらかれた念仏者となる営みであります……。

憩いのとき

第三部は釋氏清子氏(阪神西組源光寺)の指揮、大勢美智子氏(網干組圓通寺)波々伯部成宏氏(阪神西組西福寺)の演奏で仏教讃歌が始まった。

その中、参加者のお目当ての一つでもあった、杉良太郎氏が会場に手を振りながら舞台上上がった。そのトーク

は福祉の心を中心に熱く語られた。雨模様の関係で屋根の開閉があり、屋根が開いた時「観客の皆さんは濡れないで、話す私だけが濡れるとは、珍しい会場ですね。」と笑いも取られた。最後に「会場があまりにも広くお一人お一人の顔が見えないので、今度もう少し狭い会場で、二日二回公演しますから、歌も歌いますから、毎年一度ぐらいはこの会を持って下さい」と又の再会を願いながら締めくくり、盛大な拍手のなか、ピッチを後にした。

たすけあう

閉会式では随行長の速水宗讓総務が、この大会に参加して、改めて兵庫教区のお念仏にたいする大きな底力を感じさせられましたと挨拶され、その折りに宗派からの台風二十三号の被害への義援金100万円の伝達も行われた。

この大会を締めくくる大会宣言を参加者を代表して、教区仏婦連盟委員長の井上悦子さん(阪神南組西要寺)が宣言し、続いて、大会会場で義援金集計245万3482円の発表があり、教区基推委副会長の増井浄見氏

(赤穂北組浄蓮寺)が閉会の挨拶をして、午後四時に閉会した。

終了後、退場誘導アナウンサーがはじまり、257台のバスが、無事に会場を後にしたのは、午後六時半を回ってしまいました。また、大会会場に手作り念珠を出店していた仏教青年連盟より売上金の一部(3万円)が災害義援金として届けられた。

本日に最後までご協力を頂きましたこと紙面を通じて御礼申し上げます。

浄土真宗の教えと作法 第二弾発行

2年前に基推より作成いたしました『浄土真宗の教えと作法(莊嚴・法要)』につづく第二弾。浄土真宗の教章を中心に生活信条や用語解説など、「私の宗教編」を作成いたしました。

連研や法座、お門徒へのお扱い等幅広く活用いただきますよう、ご案内申しあげます。◆一部一〇〇円、二十部以上のご注文で部八十円とさせていただきます。

お問い合わせは 兵庫教区教務所 図書担当 ☎078(34)5949

台風23号に関する

被害報告(門信徒)

六角堂の扉が飛ばされ、樋が破損。當林寺 本堂・山門屋根瓦吹き飛び。

被害報告(門信徒)

▼北摂光明寺 庫裏客間全面屋根修復必要。源正寺 本堂正面ガラス戸倒壊。本堂壁落下。本堂脇、後門建具破損。佛善寺 屋根に1m50cmの穴があく。本堂が大きく傾く。隣接住宅があり解体必要。▼淡路 専修寺 本堂床下浸水。▼朝来 善證寺 庫裏床下浸水。勝賢寺 庫裏床上浸水。▼養父 真楽寺 床上浸水。屋根破損。雨漏り。安楽寺 床下浸水。雨漏り。本誓寺 窓ガラス破損。▼出石 乗専寺 雨漏り数箇所。専福寺 床下浸水。境内土石流入。東光寺 裏側土手一部崩壊。福成寺 雨漏り。墓地埋没。長専寺 本堂・庫裏半壊。本堂・庫裏床上浸水。3m冠水。善立寺 庫裏床上浸水。極楽寺 本堂床下浸水。庫裏床上浸水。本行寺 本堂・庫裏床下浸水。▼城崎 善教寺 庫裏床上浸水。乗福寺 庫裏床下浸水。徳證寺 庫裏床下浸水。眞光寺 本堂棟瓦破損雨漏り。▼岡山 北 妙願寺 門扉壁・樋窓ガラス・樹木損壊並びに倒壊。宝福寺 門徒会館瓦12〜13枚飛び。



床上浸水となった真楽寺

軒。床上浸水6軒。床下浸水1軒。善立寺 家屋全壊1軒。家屋半壊3軒。床上浸水19軒。床下浸水把握できず。西宗寺 床上浸水31軒。床下浸水6軒。極楽寺 床上浸水60軒。床下浸水56軒。本行寺 土砂進入1軒。床上浸水2軒。床下浸水7軒。光頭寺 家屋損壊1軒。床上浸水13軒。▼城崎 西教寺 床上浸水56軒。蓮成寺 床上浸水10軒。▼岡山 北 妙願寺 屋根瓦破損並びに半壊5軒。當林寺 樹木倒壊。屋根瓦・ガレージ・倉庫・その他損壊等27軒。宝福寺 山林被害甚大。

教区災害義援金報告

11月20日現在

▼阪神東組 吉祥寺、専念寺、仏教婦人会連盟、明徳寺、浄源寺、法専寺、寺族婦人会、杉本照頭、來恩寺▼阪神南組 阪神南組、西要寺、明宣寺、蓮生寺、常性寺、常性寺、同行一同、教専寺、西性寺、善正寺、養泉寺、仏教婦人会、正光寺、仏教婦人会、照蓮寺、瑛光寺、西法寺▼阪神西組 萬照寺、廣宣寺、浄専寺、西福寺、正念寺、信行寺、常宣寺、乗誓寺、報徳寺、万徳寺、円宗寺、萬福寺、金衆寺、源光寺、円徳寺、善教寺、常源寺、眞光寺、光明寺、眞光寺、正念寺、金衆寺、仏教婦人会、永田恵▼阪神北組 寺川寛哉、畑田弘、大林寺、浄福寺、門徒講、豪攝寺、阪神北組 仏教婦人会、村上孟彦、長宣寺、藤井法雄、寛正寺、井上重蔵、円行寺、円行寺総代、長宣寺、仏教婦人会、願勝寺、仏教婦人会、教蓮寺▼神戸東組 法台寺、藤田時男、神戸東組、小林源吾、小林元彦、誠照寺、照光寺、仏教婦人会、連盟、大野泰子、圓福寺▼神戸中組 眞覚寺、鍋島直樹、光輪寺、常念寺、正念寺▼神戸湊組 谷川憲正、願證寺、報雲寺、高松寺、中西小夜子、善照寺、仏教婦人会連盟▼神戸西組 蓮生寺、金衆寺、浄行寺、善海寺、眞真寺、善正寺、現光寺、光瑞寺、門信徒会、松下正信、北村義頭、仏教壮年会▼北摂組 正光寺▼神明組 光源寺、寛正寺、三好義一、米谷陽子、仏教壮年会、福谷やすゑ▼淡路組 宣勝寺、寺族婦人会、萬行寺、山本宣昭、門推、播磨中組、専應寺▼播磨中組 太田唯念、前田友廣、安養寺門徒一同、名称寺、名称寺、仏教婦人会▼多可組 東田隆夫▼加古川組 善照寺、岡本節子、照徳寺、小松俊英、仏壯連盟、西福寺門徒中、養福寺、北村廓隆▼高砂組 蓮教寺、玄長寺、願正寺、高砂組 仏教婦人会、光照寺、仏教婦人会、善立寺、明覚寺▼神崎組 西川丹二、西正寺、圓照寺、教徳寺、安楽寺門徒一同▼神姫組 専光寺、上田まや子、上田ひろ子、明正寺▼姫路東組 浄光寺、みのり、仏教婦人会、小林勝之、徳證寺門徒一同、喜多村正憲▼姫路南組 姫路南組、養泉寺門信徒、尊光寺▼姫路中組 安楽寺、西徳寺、光養寺、仏壯連盟、法性寺、清水勤、善養寺、了覺寺▼姫路西組 姫路西組門徒推進員、黒岩勤、満勝寺、高原昭七(仏壯連盟)、善宗寺、法円寺、徳円寺▼網干組 教蓮寺、政源寺、松浦平、本柳寺、田寺淑次、井口江津子、檜皮佐塚本敏昭、仏教婦人会連盟▼揖龍東組 正覚寺、善行寺、西信寺、門信徒会、福専寺、西福寺、寺族婦人会、清光寺、善導寺▼揖龍西組 専法寺、門信徒会、西法寺門徒一同、前田豊、水田研治▼新宮組 藪茂、心光寺、明専寺、乾妙子▼赤穂南組 平野國男▼赤穂北組 浄福寺、瀬川慎、米田稔、今川誠、柳川与四郎、丸山順子▼宍粟組 光泉寺、